



2021年10月1日発行
 公益財団法人とちぎYMCA
 〒320-0041
 宇都宮市松原 2-7-42
 Tel 028-624-2546
 Fax 028-624-2489
 www.tochigiymca.org
 発行人/塩澤 達俊
 編集人/公益財団法人とちぎYMCA

YMCA News

10

『とちぎYMCAの魅力と思い出』

東京YMCAスタッフ
 小松 康広



表紙の写真から: ようとう保育園「公園へお散歩」にて。
 コスモスを見つめ、秋を感じ、自然の「あたたかさ」を感じる子どもたち。

こまっちょです！まだ少しは覚えてくれている人もいらっしゃるかもしれませんが、2014年4月から2016年3月まで2年間、さくらんぼ幼稚園で、とっても充実した濃い一時間を過ごさせていただきました。楽しかったー【たかが2年間、されど2年間】でした。

とちぎYMCAの魅力は、なんといっても「ただいまー！」って、皆が帰って来ることができる場所であるということではないでしょうか！人と人の「つながり」はもちろん、個性様々な先生たち、スタッフ、事務の皆さん、リーダーたち、ワイズの皆さんや園バスの運転手さんなどなどの「あったかい」こころ、自分以外の人を大切にしている気持ちが、ただいまーと言わせてくれるのですよね。ホントに素敵なことなんです！

超ー忙しい日は、こんな感じでした。朝出勤してすぐ、本館の掃除・花壇の水やり→登園の見守り！？（旗振り）→朝の体操（本園舎、第二園舎掛け持ち）→体育クラス→昼食後は→ウエルネスクラス（体操・サッカー・水泳クラス）→夜はワイズ例会・チャリティーラン委員会・リーダー会などがありました！園バスを運転させてもらい、登降園のお手伝い、日帰りの野外保育やサッカー練習場へなど、最初はビクビクでしたが、楽しい思い出です。

夏前、園舎周りや当時の駐車場の藁や雑草を刈る作業をしていたら、近所の方に怪しい奴がいるぞ！って感じでしたがご挨拶すると、その後は笑顔でお話してくれることができました。冬になると第二園舎前の道が凍っ

てしまい、融雪剤をまきながら氷を砕いたことも忘れられない思い出です。300人の園児たち保護者の皆さん、本当に様々な人との出会いがあり、しんどいなーという時も元気にしてくれました。全園児を目の前にしての礼拝は、どきどきでした、大人の話なんて1分でも、じっと聞いていることはできなくて当たり前な子どもたちに向けて、何か1つの言葉でも印象に残ってくれたらと思いつながりながら話をしたことは、伝えることの難しさ、伝えるために努力・工夫することの大切さを改めて教えてくれました。チャリティーランや夏のプール、運動会（絶妙な駐車場の管理、それだけじゃないですけど笑）お泊り保育、バザー、マイホームきよはら訪問、盛大な卒園パーティー、ワイズクリスマスと書ききれないことばかりです。

とちぎYでの時間は決して忘れません！まだコロナ禍にありますが、前を向いて焦らず、同じYMCA仲間です、共に元気に歩んでいきましょう。

東京YMCAスタッフ
 小松 康広(こまっちょ)



とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2021年度とちぎYMCA年間聖句

（創世記 第1章 第3節）

「神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。」



認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「夏休み」

昨年から引き続きコロナ禍での夏休みになりました。前半はプールでの水泳指導やテラスでの水遊び、トマトやゴーヤなどの夏野菜を育てて収穫したり、夏ならではの活動を楽しむことができました。午前中は思い切り遊び、午後は年中、年長児もゆっくりお昼寝をしたり制作をしたりして1日を過ごしました。

8月後半に企画していた『夏祭り』に向けて全学年でおみこしを作り、盆踊りの練習も頑張っていました。途中で登園自粛のお願いをすることになり延期しました。「10月になったら秋祭りをやろうね!」とみんなでお楽しみにしています。保護者の皆様のご協力、温かいお言葉にも感謝いたします。

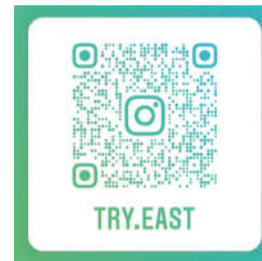
まだまだ心配な毎日が続きますが、子ども達の成長にとっても実り多い秋を迎えます。‘今できること’を考えながら充実した日々を過ごし、お子様たちの成長のお手伝いが出来ればと思っています。



ぺんぎん組
いるか組 西原 里英
くじら組

宇都宮市青少年活動センタートライ東 「再開に向けて」

宇都宮市青少年活動センター(トライ東)は、9月12日(日)まで原則休館措置となっており、利用者の方々とお会いすることが出来ていません。いつも利用してくださっている皆様に少しでもおうち時間を充実してもらえるようにあそびの家スタッフが「トライ東ムービープロジェクト」をホームページに掲載しております。おうちの方とお子様がお家で遊べる様々なあそびを動画で紹介しております。ぜひご覧ください。また、施設が再開した際に利用者の皆様に安心してご利用いただくためにアルバイトスタッフがロビーの椅子や机に「あいだをあげよう」のポップを設置いたしました。ポップには工夫が施されていて、多様なクイズが用意されていますので、開館したら挑戦してみてくださいね。それから閉館中のトライ東の様子を公式 Instagram にて発信をしております。再開後の利用方法や、閉館中のスタッフの様子などを多岐にわたってご案内しております。



トライ東 Instagram
オフィシャルアカウント

try.east

ようとう保育園

「つばめ組(2歳児) 夏の戸外あそび」

幼児組の各クラスで様々な夏のあそびを楽しんだこの夏。そこで9月は『夏のあそびイベント月間』とし、週1回テーマを決めて幼児組合同での活動を取り入れることにしました。

第一弾は絵の具あそび。開いたポリ袋、ダンボール、そして自分自身の体がキャンバスです。絵筆を使い塗る子、指先や手のひらに絵の具をつけて塗る子、顔や手足に思い思いに色を塗り、ネコやピエロ、ゾンビに変身!ダイナミックにあそびました。また、色を混ぜ合わせて何色になるかを試す姿も見られ、「この色は何だ?!」と、できた“名もなき色”に驚いていました。



第二弾は感触あそび。さくら組(5歳児)は泡あそび、ふじ組(4歳児)は片栗粉あそび、うぐいす組(3歳児)は色水あそびと、各クラスで担当をわけてブースを歩き来し楽しみました。片栗粉や泡あそびは保育士のほうが夢中になり、実験を重ねたほどです。その成果が子どもたちにも伝授され、今回のあそびへとつながり、子どもも大人も盛り上がりました。

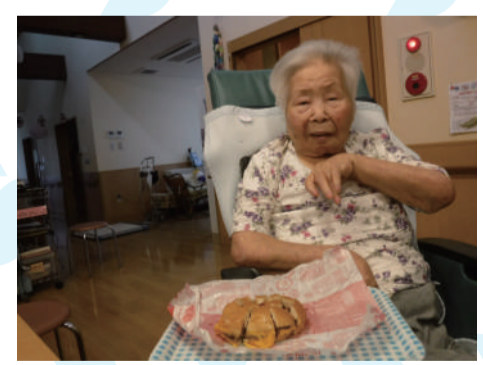
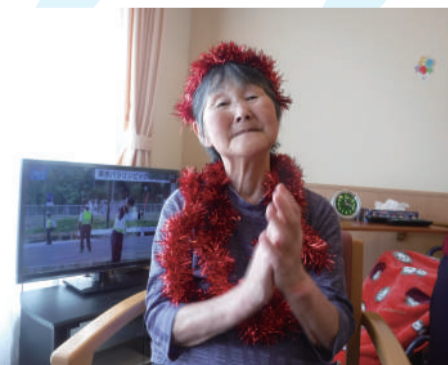
いろいろな素材に触れてあそぶことで、各年齢ごとに子どもたちの豊かな感性や、表現力の育ちを感じました。今後も各クラスでの活動を情報交換しながら、異年齢で交流するあそびを充実させていきたいと思ひます。

さくら組担任 田崎 智恵子

特別養護老人ホームマイホームきよはら

「元気な姿をいつまでも」

段々と寒くなってまいりましたが、マイホームきよはらのご利用者様は皆さん元気に過ごされております。先日久々にマクドナルドのハンバーガーが食べたいと利用者様よりお話があり、テイクアウトしてきました。普段の食事ではハンバーガーなどはなかなか出ることがないためご利用者様から「昔は子供や孫と一緒に食べたのよ」「久しぶりに食べるとおいしいわね」などと喜んでいただきました。食事だけではなく、様々なアクティビティを行い外へ行くことが難しい中でも施設内で気分転換でき、今後もご利用者様が楽しんでいただけるようにイベントなどを行っています。9



月20日には敬老祭を行い、ご長寿ランキングなどが発表されました。皆様お元気で長生きされている姿を見ることが出来ました。100歳を迎えられるご利用者さまから皆様元気をもらうシーンもあり、楽しく過ごされておりました。日常生活においてはご利用者様がたくさんの方と交流していただけるように散歩や体操、カラオケなどのアクティビティを行っております。散歩の際にはご利用者様同士があいさつや会話を交わされ、コミュニケーションをとっている場面が多くみられます。会話を交わすことや体操などに参加することで認知機能の低下防止につながっています。様々なアクティビティを行いこんごも元気に過ごしていただけるようにケアを行ってまいります。

全ての人にきっかけを。

第59回高校生ボランティアスクール ご報告

「ボランティア活動をしたいけれども、チャンスがない」という多くの高校生の思いを受け、1983年からとちぎYMCAでは夏休み期間を利用して幼稚園（預かり保育）や学童保育、地域活動支援センター（軽作業）、野外教育活動などの「ボランティア活動プログラム」を開いています。今年度は39名の高校生が参加をしました。以下、参加者の感想です。（一部抜粋）

今回のボランティアを通して、子ども達は遊びを通して多くのことを学んでいると分かりました。1歳児と3歳児を担当して、年齢が2歳しか変わらないのに表現方法や遊び方が大きく変わっていて成長を感じることが出来ました。言葉遣いや教え方、コミュニケーションのとり方など今の私に必要なことを学ぶことができ貴重な経験となりました。私が目指している保育士像になれるよう今後に活かしていきたいと思えます。

活動プログラム ようとう保育園 さくら清修高校 菅谷 咲音



今回、初めてのボランティア活動という事もあり、上手く子どもと関われるか、子ども達が喜んでくれるような活動ができるか心配だった。しかし、同じく3Days スクール 2期に携わった方たちが優しく声を掛けて下さったお陰で、楽しく事前の準備をする事ができた。活動中は子どもの気持ちを第一に考え、臨機応変に、楽しみながら活動する事ができた。私はこの活動を通して、「社会で活動する上で必要となる責任感」と「子どもと関われる事の楽しさや充実感」を学ぶ事ができた。その一方で、「リーダー会の時に積極的に発言できなかった」という課題点も見つかった。これは、今後の学校の授業で行われる話し合いの時に、「相手の反応を過度に恐れる事なく意見を言う」事で克服しようと思った。そして、ボランティアスクールの報告会で意見交換した際にも「裏方の大切さ」や「障がいのある人に対して壁をつくっているのは私達である」、「子どもによって出来る事や個性が違う」等、様々な観点から学びを得られた。これらの意見も今後の自分を成長させる糧として、また「関わる人の気持ちを尊重する」為の教訓として生活したいと思った。このように、今回のボランティア活動で、社会の一員としてとても大切な事を沢山学ぶ事ができた。私は将来スクールカウンセラーになる事を希望している。その未来に向かって、今回の経験をこれからの人生で十分に活かしつつ、様々な事に挑戦したい。

活動プログラム 3days2期 宇都宮南高校 魚住 優斗

御礼

ワイズメネット委員会様より絵本をいただきました。

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区ワイズメネット委員会様より絵本をいただきました。

ようとう保育園では、「どどどどど」、「おたすけこびとのまいごさがし」、「でんしゃでいこう」、「とべ!ちいさいプロペラき」、「ぶーぶーじどうしゃ」の5冊、さくらんぼ幼稚園では、「えんとつ町のプペル」、「パンどろぼう」、「めっきらもっきらどおんどん」、「りんごかもしれない」、「どっしーん」の5冊です。

子どもたち、教職員一同感謝申し上げます。ワイズメネット会様の今後ますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

※ワイズメンズクラブとは、青少年育成団体である「YMCA」の活動を支援することを第一の目的として、地域・国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体です。メネットとは、ワイズ会員のパートナーです。



ユース世代が輝くきっかけを。

第33回 東日本区ユースボランティアリーダーズフォーラム報告

2021年9月11日(土)から9月12日(日)の2日間でユースボランティアリーダーを対象とした「第33回東日本区ユースボランティアリーダーズフォーラム」が開催されました。この研修会には7つのYMCAから35名がオンラインでつながり「今、ユースに求められていること」をテーマに話し合いました。とちぎYMCAからは5名のユースが参加しました。以下、参加者の感想です。

平良さんの講演の中で、「生きたいように生きる」というワードが出てきました。生きたいように生きるには、周囲の人の対応が重要になってくると思えます。平良さんも、小学生の時にスカート履きたいと母親に話しました。「何言ってるの?」と言われる家庭も多い中、平良さんの母親は平良さんを否定せず一緒にスカートを買に行きました。このようにその人のやりたいことを周囲の人が尊重してあげることで、その人は自信を持って生きていけるのだと感じました。

白鷗大学1年 佐藤 歩 (ココ)

2日間のフォーラムを通して、たくさんの刺激を受け、自分の人としての未熟さを痛感することができました。平良さんの講演で、特に印象に残った言葉は、「差別をなくすためには、優しさだけでなく知識が必要である」です。今までの私は、優しい気持ちを持っていれば、差別なんてしないと考えていました。しかし、この言葉を聞いて、自分も無自覚で差別をしていたのではないかと怖くなりました。また、さらに大人は子どもに正しい知識や情報を教える責任があるということも学びました。これからリーダーとして、将来は、保育者として活動していく上で、積極的に知識を身に付け、子どもたちに伝え、差別やいじめの加害者も被害者も生み出さない保育をしたいと強く思いました 白鷗大学1年 長 あすみ (ちーず)

私がYMCAリーダーを始めて1年が経ちました。活動に参加していく中で、子どもたちに向けての声かけ、他のリーダーに対して思いを伝えることができないことや語彙の末尾が小さくなってしまふことが多々ありました。私がリーダーとしてふさわしいのか疑問に思うことが多々ありました。フォーラムでは、各都市YMCAリーダーと交流をして、活動に対するアドバイスや励ましの言葉を頂きました。頂いたアドバイスを無駄にしないよう、これからの活動に活かしていきたいです。また、平良さんの講演を聞き、私の固定概念が崩れました。優しさだけでは人を救うことができないので、知識を蓄えてから行動に移せるようになります。2日間 zoom 上ではありましたが、有意義な時間を過ごすことができました。私はもう駆け出しのリーダーではありません。頼られる先輩リーダーへと変わっていく必要があります。フォーラムを契機にして、自信を持って子供たちやリーダーに背中を押せる人になりたいです。

帝京大学3年 関口 晴陽 (メンディー)

今回リーダーズフォーラムに参加をしてみて、他のYMCAのリーダー達とグループディスカッションを通して、様々な意見を交換したりすることができ、自分では発見できない考え方やアイデアを学ぶことが出来ました。平良さんの基調講演では「優しい心だけでは差別は克服できない」という言葉がとても印象的で、克服するためには知識が必要と仰っていたので、今回をきっかけにさらに知識を増やし、それを周りにいる人に伝えていきたいと感じました。

白鷗大学1年 藤本 菜々美 (メロ)

今回フォーラムに参加し、今までの自分を振り返る機会となりました。たくさんのリーダーとの感想や意見の交換で様々な考え方や視点を知り、刺激を受けることができました。平良さんの基調講演では、「相手との関係性を大切にすること」「伝えていくためには考えること、問うことが大切であること」と言う言葉が印象に残っています。現在様々な方々と関わる中でその方々との関わり方や自分の行動を見つめ直していき、一人一人との関わりを大切にすること、伝えるためには言葉にすることを心がけていきたいと考えました。

白鷗大学2年 鈴木 はなめい (すう)



YMCAが実現したい世の中の姿

高校生ボランティアグループ「つぼみ」

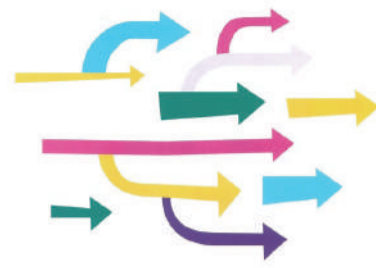
フェアトレードを紹介、販売します。

とちぎ YMCA の高校生ボランティアグループ「つぼみ」の有志が、北タイとフィリピンの手芸品（フェアトレード）を紹介、販売します。

10月16日 (土)、17日 (日) 「道の駅でSDGs!! マルシェ」に出店 (ろまんちっく村)

11月14日 (日) 「地球・おもしろマルシェ」に出店 (もみじ通り)

問合せ：028-624-2546 (阿久津、大浦)



互いを認め合い、高め合う 「ポジティブネット」のある 豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」 Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

SDGsの実現に向けて



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年に国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための開発目標です。17のゴールから構成され、地球上の誰一人として取り残されないことを誓っています。私たち一人ひとりが社会課題を「自分ごと」として考え、行動することが第一歩となります。

月刊# (ハッシュタグ)



第6回 「ジャーパボエ

(台湾の挨拶:ご飯食べた?)

とちぎYMCA総理事 塩澤 達俊

#子ども食堂#アットホームきよはら#フードバンク#木幡屋#風弥#ベルモック ぱくぱく、もりもり、むしゃむしゃ、もぐもぐ、ペロリ、がぶりと……。言ってみただけでお腹が空いてくる食欲の秋になりました。でもお腹がずっと空いているのは辛いもので、その様子は「ひもじい」と言いますが、気持ちとしては、切なく、悲しく、やるせないものです(+_+)

みなさんフードバンクをご存じですか?いろいろな理由で食べものがないとき誰かが食べものを寄付してくれて誰かに届けるボランティア活動です。学生さんや外国の人や、子育て中の人や、お年寄りなどなど、いろいろな人が助かっています。

空腹がおさまったからということもありますが、どちらかという「世の中捨てたもんじゃない」「何とかかなるかな」「あしたもちよっと頑張ってみるか」といった気持ちのペコペコがおさまって笑顔が戻るからです。

「一緒に食べれば」それはなおさらで、「子ども食堂」や「居場所」のごはんの元気回復力がすごいのはこれが理由です。

YMCAへのご寄付で「子ども食堂」や「居場所」のごはんを豊かにしてくださる方や会社さんがたくさんあります。今日は 2 年間毎週野菜ご寄付の木幡屋さん (宇都宮)、1 年間毎月自然食パンご寄付の風弥さん (真岡)、8月からおかずご寄付のベルモックさん (芳賀町) をご紹介します。ご紹介できないたくさんの方のみなさまにも、心よりありがとうございます (^_^)



information とちぎYMCAの予定

10月の予定

- 10月2日 さくらんぼ幼稚園運動会
- 10月16日・17日 「道の駅でSDGs!! マルシェ」に出店 (ろまんちっく村)
- 10月17日 全国YMCAリーダー研修会①: とちぎYMCA主管 (オンライン)
- 10月23日 とちぎY 野外クラブ 10月活動
- 10月23日 わくわくトライキッズ
- 10月24日 Yキッズ 10月活動
- 10月31日 全国YMCAリーダー研修会②: とちぎYMCA主管 (オンライン)

11月の予定

- 11月13日 わくわくトライキッズ
- 11月14日 地球・おもしろマルシェに出店 (もみじ通り)
- 11月20日 とちぎY 野外クラブ 20月活動
- 11月21日 Yキッズ 10月活動
- 11月28日 全国YMCAリーダー研修会③: とちぎYMCA主管 (オンライン)



とちぎYMCAの日常をご覧いただけます。

instagramもはじめました! tochigi_ymca

